

議 長
確認印

予算決算常任委員会会議録

1 開会の日時 閉 会	平成 30 年 12 月 5 日 10 : 00 平成 30 年 12 月 5 日 15 : 20
2 場 所	議場
3 出席した委員	小林達信、割貝寿一、七宮広樹、下重義人、吉田広明、青砥與藏、 高縁 光、吉田克則、鈴木 茂、鈴木安次、小峰由久、藤田一男、 鈴木孝則
4 欠席した委員	なし
5 出席要求者	なし
6 職務出席者	議長 大縄武夫 議会事務局長、書記
7 説 明 員	町長、副町長、総務課長、町民課長、健康福祉課長、まち振興課長、 まち整備課長、生活環境課長、保育園長、会計管理者、 農委事務局長、総務課長補佐、財政係長、教育長、学校教育課長、 生涯学習課長、給食センター所長
8 付 議 事 件	第 1 埴町振興計画（実施計画）案について
9 議事の経過	<p>副委員長（割貝寿一委員）開会 委員長（小林達信委員）あいさつ 町長 宮田秀利 あいさつ</p> <p>第 1 埴町振興計画（実施計画）案について 委員長：(1) 財政状況及び財政見通しについて説明を求める。総務課長 （総務課長が説明） 委員長：質疑はあるか。 鈴木茂委員：中期財政見通しで町税増額は何を見込んでいるのか。 総務課長：平成 29 年度は当初予算を計上し、平成 30 年度以降は過去の決算額を基に 推計している。平成 29 年度決算見込み額は町税で約 9 億円となる。 吉田（克）委員：町では長期の財政計画はあるのか。 総務課長：町は 10 年見通しを中期とし、長期の財政見込みは現在ない。 委員長：ほかになければ次に移る。 （2）概算事業計画について説明を求める。 （所管課の長が資料の説明） 委員長：質疑はあるか。 鈴木茂委員：公民館木野反分館建設事業が平成 32 年になる理由は。また、地元の了解 は得ているのか。</p>

生涯学習課長：町財政が厳しく、こども園建設が終了してからとした。地元の建設委員長の了承は得ている。

鈴木茂委員：あぶくま高原美術館事業費が上がっているが、冬季休館しないのか。

生涯学習課長：冬季休館はする。地元区の要望で管理委託料の単価を増額した。

鈴木（安）委員：湯遊ランドはなわの大広間屋根改修工事が記載されていないが検討しているのか。

まち振興課長：埜町振興公社からも要望があり今年度見積もりを徴している。今後、早急に事業計画を立てていきたい。

鈴木（安）委員：図書館業務委託事業の事業費が年々上がっていく理由は。

生涯学習課長：消費税の上昇分を見込んでいる。

鈴木（安）委員：埜町公民館の和式トイレを洋式に変える予定はあるか。

生涯学習課長：洋式トイレにすると面積の確保が難しいので、現在検討中である。

吉田（広）委員：幼・少・中特別支援教育支援員の賃金が安いと思うが、支援員から賃金値上げの要望はないのか。

学校教育課長：採用条件で提示しており、現在までに要望はない。

吉田（広）委員：子育て若者定住促進住宅団地 22 区画の一戸当たり面積と販売額の予定は。

まち整備課長：平均面積は 65 坪（62 坪～73 坪）、販売価格は近隣の相場も参考とし事業費の確定後決定していく予定である。

鈴木茂委員：地籍調査事業が遅れているが、国県補助金はどのくらい減額となっているのか。また、町予算で地籍調査を進める考えはないか。

まち整備課長：平成 25 年度は 1,560 万円であったが、平成 29 年度は 360 万円となっている。

町長：町予算については考えてみたい。

小峰委員：川上谷川線の道路整備について一部ではなく全線改良計画はできないか。

まち整備課長：地元からの要望もあり今後町全体の道路計画として考えていく。

鈴木（安）委員：道の駅はなわ駐車場の舗装計画はあるのか。

町長：今回振興計画には上げてないが、緊急性があれば事業を進めていきたい。

吉田（克）委員：農道原材料費で生コン代単価の決め方はどのようにしているのか。

まち整備課長：近隣の 3 社から見積徴取により決定し、単価契約している。

吉田（克）委員：商工業活性化のための商工会への補助金が例年通りとなっている理由は。

町長：商工会で実施する各事業の実績に応じて補助金額の決定していくように検討していく。

吉田（克）委員：工業団地造成事業の平成 32 年度 2,000 万円は用地測量だけなのか。

まち振興課長：擁壁工事等の計画も含んでいる。

吉田（克）委員：賄材料購入事業費で消費税増額分は見込んでいるのか。また、賄材料費には主食・副食すべての事業費なのか。

学校給食センター所長：平成 30 年度は児童・生徒等の人数で算出した金額である。31 年度、32 年度は消費税の増額はあるが、児童・生徒数の減少により金額を同額とした。また、賄材料費は主食・副食すべて含んだ金額である。

吉田（克）委員：老人ホーム入所者の人数と場所について。

健康福祉課長：ユーハイムやみぞ 16 名、長生園(石川町)1 名、泉荘(大子町)1 名である。

大縄議長：公用車購入計画には、町長車の購入予定はないのか。

総務課長：平成 32 年度に購入予定しているが、状態が悪くなった場合にはそれ以前に購入を考えたい。

割員委員：工業団地造成事業で残土が流失しないように要望しているが、平成 30 年度に計画がない理由は。

まち振興課長：振興計画には計上してないが、流失防止については平成 30 年度当初予算で検討していきたい。

高縁委員：住まいる環境リフォーム補助金は、平成 31 年度以降、埴町だけの事業終了となるのか。

まち振興課長：財源が復興基金であり平成 30 年度で基金終了となるため平成 31 年度以降の計画はない。

財政係長：今後は高齢者リフォーム事業に予算をシフトしていきたい。

吉田（克）委員：子育て若者定住促進住宅団地整備事業は国県補助金事業とならないのか。

まち整備課長：宅地造成事業で利用者への宅地販売のため補助事業はない。

下重委員：旧焼酎工場の屋根の修繕は平成 31 年度でよいのか。雨漏りはしていないのか。

まち振興課長：焼酎工場再稼働にむけて、新たな企業誘致のための改修であり、現在は雨漏りしていない。

委員長：これで質疑を終わる。

（説明員退席）

委員長：討議を行う。意見はあるか。

（「なし」という人あり。）

委員長：意見がないので討議を終わる。

委員長：まとめを行うが、委員会の意見はないので、本計画を了解したということでよいか。

（異議なし）

委員長：そのように決定する。報告書の作成は委員長一任にしたい。

(異議なし)

委員長：これで、すべての日程を終了する。

副委員長：これで委員会を終了する。

埴町議会委員会条例の第 27 条の規定により署名する。

平成 年 月 日

予算特別委員会

委員長